

***みがくレベル3を目指す。自立した学習者となる。**


1年 社会科 「みがく」デザイン単元

「アフリカの子どもたちが5歳の誕生日を迎えられるためにーアフリカ州ー」


単元計画

時	学習内容	みがくレベル		
		1	2	3
1	・アフリカ州ってどんなところだろう		○	
単元を通した課題：アフリカの子どもたちが5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは何だろうーアフリカ州ー				
2	・英語やフランス語が公用語として使われているのはなぜだろう（植民地・紛争）			○
3	・“モノ”に頼る経済の何がいけないのかな（貧困・工業化）			○
4	・栄養不足人口の割合が高いのはなぜだろう（栄養・食料）	○		
5	・日本はアフリカにどのような支援をしているのだろう（教育・医療）		○	
6	・5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは何だろうー根拠となる資料を見つけようー	○		
7	・5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは何だろう 【本時】			○
8	・私にできる支援には何があるのだろう		○	


本時の流れ




5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは何だろう




＜食料の生産＞
栄養失調により、命を落とす子どもが多いから
＜モノカルチャー経済からの脱却＞
価格が変化しやすいモノカルチャー経済では、貧困から抜け出せないから
＜工業化の進展＞
加工したものを輸出した方が、高く売ることができるから
＜医療の充実＞
各国が支援しているから。風邪が悪化したことで命を落とすこともあるから
＜紛争の解決＞
紛争により、多くの命が失われている。紛争を解決することで、課題の解決につながると思うから
＜教育の振興＞
医療にしても経済にしても、課題を解決するためには、まずは教育だと思うから
【各グループの意見】




アフリカの子どもたちが5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは、短期的に考えると、工業化なのかと思いました。しかし、長期的な視点で考えると、教育の振興だと思います。現在のアフリカには、貧困や経済、医療など、さまざまな課題があります。そのどれもが5歳までの子どもの死亡率を高めている原因ではありますが、経済のことや医療のことなどを考えるときに、教育をしっかりとて、知識をつけることが一番大切であると識字率の資料から思いました。
【個人のまとめ】



- ・食料
- ・モノカルチャー経済
- ・工業化
- ・医療
- ・紛争
- ・教育






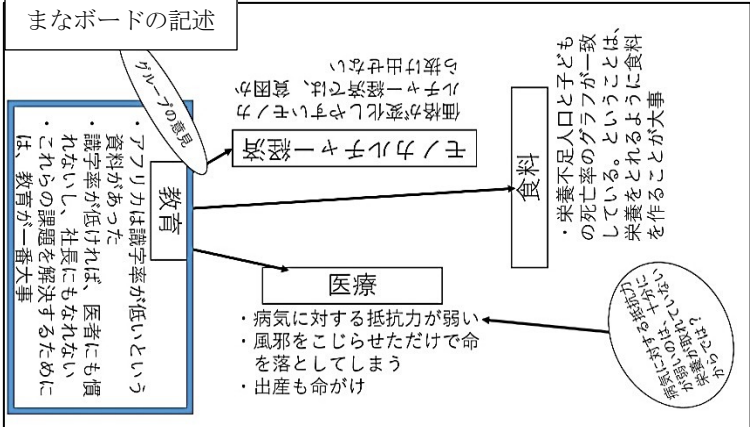






本時の進行案 （7／8時間） *全教科同じ形式の指導案となる。統一されたものから徐々に変える。

目標 アフリカの課題について多面的に考え、根拠をもとに自分の考えを表現している

キーワード 食料 モノカルチャー経済 工業化 医療 紛争 教育

流れ	学習活動	○支援 ☆しかけ
   	<div> <input type="checkbox"/> あいさつ <input type="checkbox"/> 前時の振り返りをペアで伝え合う <input type="checkbox"/> 今日の課題「5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは何だろう」を伝える <input type="checkbox"/> 今日の授業の流れを伝える <input type="checkbox"/> 今日のキーワードを伝える <input type="checkbox"/> 前時のワークシートを確認し、自分の考えを整理する </div> <div>(5) 分</div> <div> <input type="checkbox"/> 話し合う  (35) 分 話し合いの流れ <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対してグループごとに話し合う ・話し合いの内容を伝える代表者（ホスト）を残し、組み直したグループで話し合う（※グループは2回移動する） ・元のグループに戻り、各グループで話し合ったことを伝え合い、最優先で解決すべき課題を1つ短冊に書く ・他グループのボードを見て回る </div> <div> <div>まなボードの記述</div>  </div>	<p>○書きながら話すことは難しいため、事前に自分の意見を付せんを書いておく。</p> <p>○関連している事柄同士を線でつなぐことで、アフリカ州の解決すべき課題の関係性が見える化する。</p> <p>☆最優先で解決すべきことが決まったグループに、「その結論は短期的な視点で考えたのか、長期的な視点で考えたのか」と問うことで、それぞれの課題の重要性を再度考えるきっかけとする。</p>
 	<div> <input type="checkbox"/> 今日の課題「5歳の誕生日を迎えられるために最優先で解決すべきことは何だろう」について、改めて自分の考えをワークシートに記入する </div> <div>(5) 分</div> <div> <input type="checkbox"/> 振り返りシートに記入したことを、隣の人と伝え合う </div> <div>(2) 分</div> <div> <input type="checkbox"/> 本時の振り返りを、OPPA シートに記入する </div> <div>(3) 分</div>	<p>☆振り返りシートに影響を受けた友達の考えを書く欄と、授業前後の自らの考えを書く欄を設けることで、思考を再構築した過程を、振り返られるようにする。</p>

授業の学び方「みがき度」チェックポイント Ver 2

* 授業の相互評価のカードである。自己評価から班評価、学級評価への相互評価

記入者 年 組 番 ()

	「みがき度」のチェックポイント	今日の授業で達成できたか。○を付けよう
1	「まとめ」を自分の言葉で説明できたか	できた できなかった
2	キーワードを使って学ぶことができたか	できた できなかった
3	話し合い中に2回以上自分から意見が言えたか	できた できなかった
4	わからないところがわかったか	できた できなかった
5	「みがきあい言葉」を2回以上使って話し合うことができたか	できた できなかった
6	自分たちで授業を進めることができたか	できた できなかった

達成できた理由を書こう

これから「みがき度」をあげるために、あなたはどんなことに取り組みますか。今日の協議会をふまえて、あなたが考えたことを書いてください。

生徒授業協議会の流れ

テーマ：5時間目の授業の「みがき度」は☆いくつだったか

① 4つのグループをつくり、グループ内で意見を伝え合う→教室で行う

② 各グループの代表者が「達成できた☆」についてクラス全体に発表する

③ 発表をもとに、クラスのみがき度を確定する

④ みがき度をあげるために、これからどう取り組んでいけばよいかをグループで話し合う。先生も話し合う。 ①～④終了まで10分

.....
.....
.....

⑤ グループの代表者が意見を発表した後、先生にも意見を聞き、もう一度話し合う

⑥ 「みがき度をあげるために取り組むこと」を1つ決定する

⑦ 全体に発表する ⑤～⑥終了するまで15分

.....
.....
.....

⑧ 自分は今後どうしていくか振り返りを記入する

* 級長は、集まった授業磨きカードの中で、納得できるものを選んで付箋を貼り、担任に提出

* 書記は、授業協議会のホワイトボードを写真に撮り、スカイメニューの発表で提出

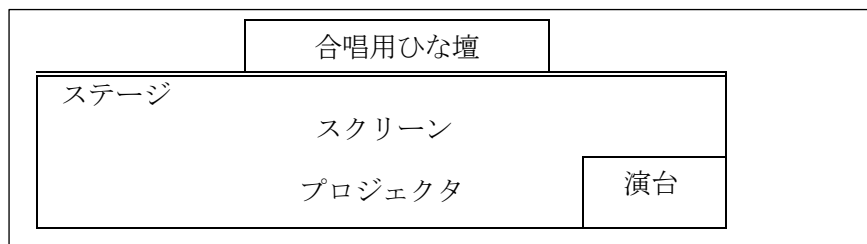
* みがき度を学級で相談し、全校で評価・情報交換を行う。教師の意識改革や校務改革につながる。

生徒授業協議会・講演・指導講評 会場図

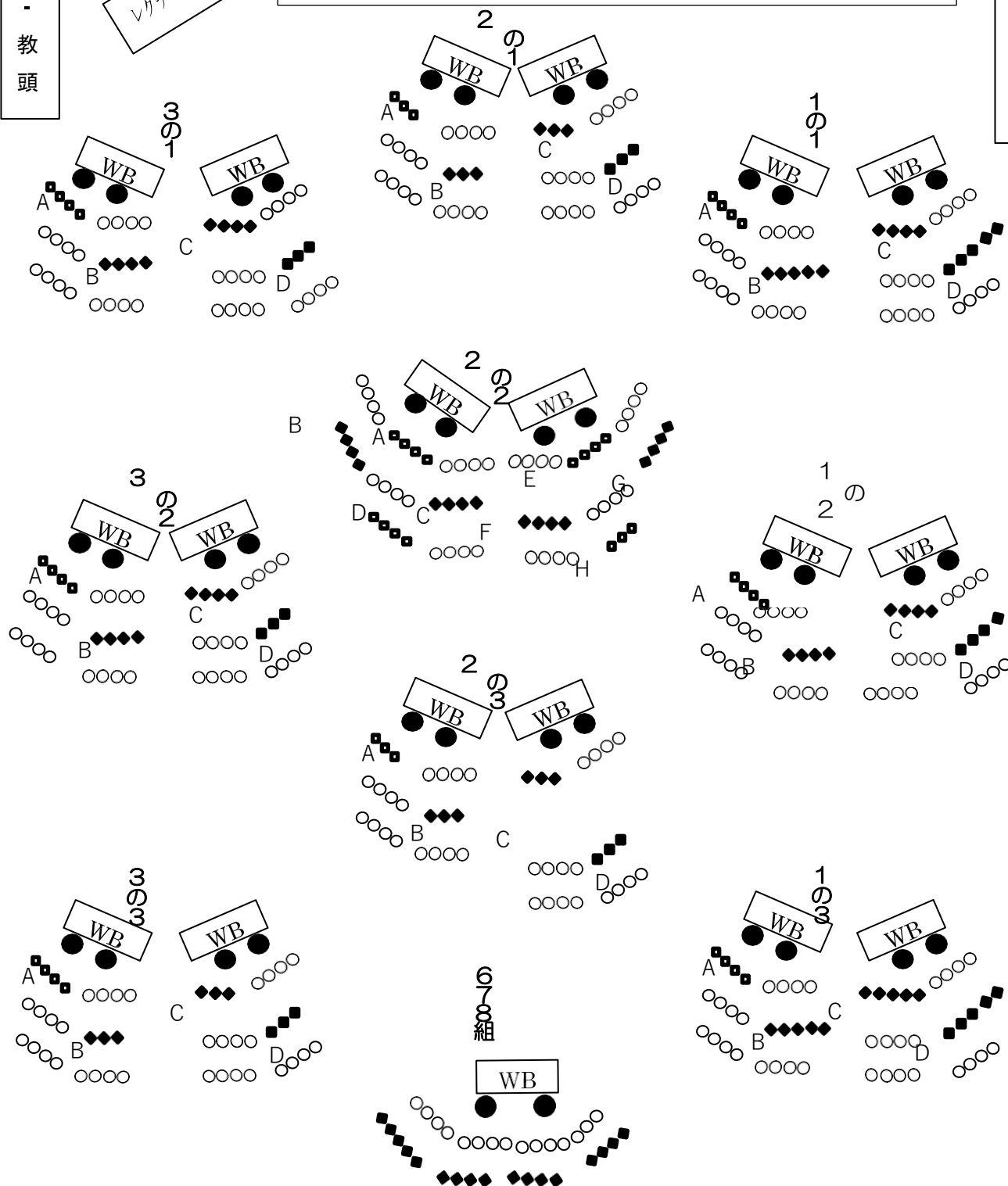
- …司会&書記
- …生徒席
- ◆…参観者席

校長・教頭

レクチャー



市教委・助言者



一般来賓 講演・指導講評時の席

一般来賓 講演・指導講評時の席

3F PTA 参観席

(*「自立した学習者」となるように、みがくレベルを作成している。単元の時間により微妙に変わるのがよい。レベル3までになることを目指すとよい。知識は、教師から教わるものではなく仲間で見出していくものである。)

単元計画の「みがく」レベルについて

M 中学校では、生徒がつくる授業「みがく」を実践しています。しかし、授業内容によっては、教師が進行した方がよいものもあります。そこで、私たちは「生徒とつくり、生徒が進行した方がよい授業」と「教師が進行していった方がよい授業」とを、単元計画の中で分けることにしました。それが「みがく」レベルです。「みがく」レベルの具体的な内容は下の表に示したとおりです。単元計画を教師と生徒が振り返りシートで共有し、生徒が見通しをもって授業に取り組めるようになっています。また、次の授業の学習内容や目標、課題を知ることができるため、予習を自主的に行うことができます。

「みがく」レベル	教科リーダー	リーダー以外	教師
レベル① ・知識・技能の習得、定着が主目的 ・基本教師が進行	○授業前の準備 ○授業後、教科連絡を聞く	○前時を振り返る（ぶつぶつタイム） ○説明を聞く ○今日のめあてや課題に、積極的に取り組む ○授業のまとめをする（ぶつぶつタイム） ○今日の授業について振り返る	○授業の導入 ○課題もしくはめあての提示 ○見通しの説明（流れやキーワード紹介、必要な場合のみ） ○授業の展開・まとめの進行 ○知識・技能の説明 ○知識・技能の習得、獲得のための練習 ○生徒への必要な支援 ○まとめの補助説明（必要なら） ※課題やめあての提示は前時までに教科リーダーにしておく
レベル② ・思考・判断・表現の処理や活用が主目的 ・基本教師が進行 ・課題解決の話し合いを行う授業 ・教科リーダーは導入のみ	○授業前の準備 ○授業の導入を進行 課題の提示 見通しの説明（流れやキーワード紹介、必要な場合のみ） ○教師にバトンタッチ 以後、リーダー以外の生徒と同じく授業を受ける ○授業後、教科連絡を聞く	○前時を振り返る（ぶつぶつタイム） ○課題に対する考えをもつ ○話し合う（4つの話し合い形式） ○授業のまとめをする（ぶつぶつタイム） ○今日の授業について振り返る	○授業改善の視点の提示 ○授業の展開を進行 ○生徒の学びの観察、必要な支援 ○各グループの話し合い内容の把握 ○学習内容を深めたり、広げたりするための問いかけ ※課題やめあての提示は前時までに教科リーダーにしておく
レベル③ ・主体的に学習に取り組む、問題解決が主目的 ・教科リーダーが進行 ・教師はサポート ・単元に1回は行う	○授業前に昼休みや業後の時間を使って、教師と内容の打ち合わせをする ○授業前の準備 ○授業の進行 導入 課題の提示・見通しの説明 展開 個人学習と話し合いの進行 生徒からの質問に答える 課題に迫る質問をする 全体が深まったり、広がったりする 考えを見つける まとめ 他の生徒のまとめを聞く ○授業後、教科連絡を聞く	○前時を振り返る（ぶつぶつタイム） ○課題に対する考えをもつ ○話し合う（4つの話し合い形式） ○授業のまとめをする（ぶつぶつタイム） ○今日の授業について振り返る	○教科リーダーと打合せ（授業前） ○授業改善の視点の提示 ○各グループの話し合い内容の把握 ○生徒の学びの観察、必要なしきけと支援 ○学習内容を深めたり、広げたりするための問いかけ（個人やグループに） ○教科リーダーと授業進行についてアドバイスや相談 ※課題やめあての提示は前時までに教科リーダーにしておく